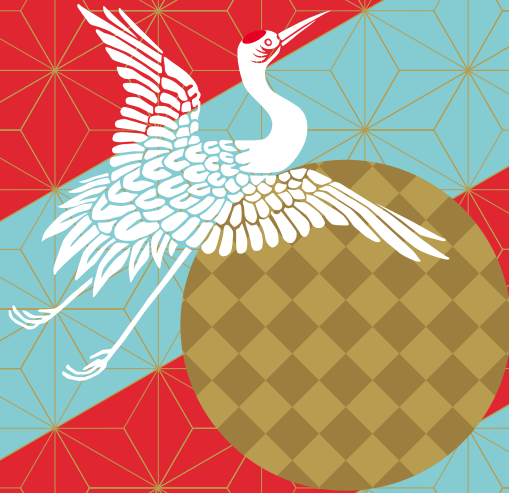




sapporo education and culture hall news
Raku

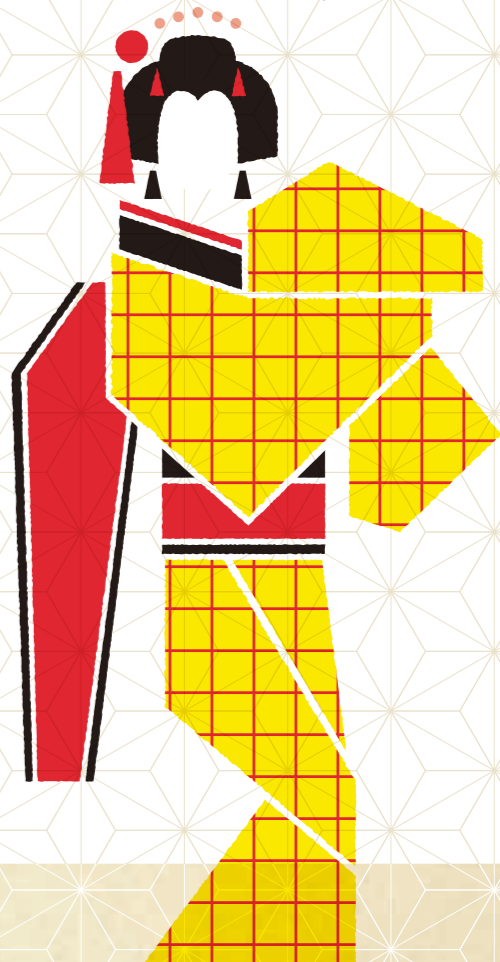


気軽に楽しむ、伝統芸能。



華麗なる舞踊劇

「歌舞伎舞踊」とは、歌舞伎の中で演じられる舞踊及び舞踊劇のこと。日本舞踊の同義語としても使われます。舞踊は歌舞伎の原点であり、全ての演技の基本です。今回は舞踊に着目して、歌舞伎の魅力をご紹介します！



「歌舞伎」は歌(音楽性)、舞(舞踊性)、伎(演技)、物(物真似)の3文字が表すように、独特な様式を持つ演劇です。とりわけ、全ての演技のベースとなる舞踊は歌舞伎の原点。その発祥から、舞踊がどのように歌舞伎の中で発展してきたのか辿ってみましょう。

「かぶき踊り」という名称が史料に現れたのは、慶長8年(1603)、徳川家康が江戸に幕府を開いた年でした。「出雲の阿国」と名乗る女性が京都に登場、男装して伊達なかぶき者に扮し、遊女を扱うありさまを笛や太鼓の演奏とともに官能的な踊りで演じたのです。やがて、当時最先端の楽器「三味線」を弾きこなす遊女による華やかな群舞が見ものの「遊女歌舞伎」も登場、全国的な大ブームを迎えることに。ところが1629年、風俗

を乱すという理由から、幕府は遊女歌舞伎を禁止。代わって、美少年による踊りや狂言の芸能が「若衆歌舞伎」と呼ばれて脚光を浴びますが、これまた風紀を乱すと1652年に禁止。その後、民衆からの嘆願もあり、幕府は若衆の色気の特徴である前髪を剃り落とした野郎頭、かつ扇情的な舞や踊りではなく「物真似狂言」を演じることの二つを条件に再開を許可。これが「野郎歌舞伎」と呼ばれ、男の役者が女性を演じる「女方」も誕生、演劇性のある芝居を上演する現在の歌舞伎の形が整います。

元禄時代(1688~1704)に入ると、庶民文化が開花。「事」と呼んだ演技や演出の類型が数多く形成されます。武士階級を中心に形成された新興都市の江戸では、初代市川團十郎(1660~1704)の荒事が人気に。一方京都では、初代坂田藤十郎(1647~1709)を代表として、初期歌舞伎の遊女遊びの狂言を受け継ぐ和事の演技様式が確立。「女方」の芸も発展していきます。享保から宝暦時代(1716~1764)にかけては、大阪を中心に栄えた人形浄瑠璃の作品が次々と歌舞伎化。三大名作の「菅原伝授手習鑑」「義経千本桜」「仮名手本忠臣蔵」も、この時期に歌舞伎化されたものです。

また、女方の名優によって、長唄を伴奏音楽とする舞踊が確立されるのもこの頃。天明から寛政時代(1781~1801)になると、立役(男性役)も舞踊を演じることが普通になり、舞踊劇の演目も充実していきます。鶴屋南北と河竹黙阿弥という大作家が活躍した文化文政期(1804~30)には、舞踊も市井風俗をスケッチしたのや、小品を綴り合わせて一人で何通りもの役を踊り分ける変化舞踊が盛んに。明治に入ると歌舞伎をより高尚な演劇にしようという運動が起こり、舞踊においても能舞台を模した背景で演じられる「松葉目物」など、能狂言を元にした舞踊劇が多くつくられました。今日上演される舞踊劇は大きく分けて、長唄地の女方舞踊として独立したもの(京鹿子娘道成寺など)、長い狂言から舞踊場面を独立させたもの(道行初音旅)など、変化舞踊として創作された曲を独立させたもの(鶯娘「藤娘」など)、能狂言を題材としたもの(土蜘蛛「紅葉狩」など)が挙げられます。

歌舞伎舞踊を彩る 三味線音楽4種

歌舞伎で舞踊は「所作事」と呼ばれ、伴奏音楽の種類「長唄、義太夫、常磐津、清元」によって分類されます。歌舞伎舞踊が女方の担当だった頃は、長唄が主流でした。長唄の曲調は明るくリズムカルで、三味線の他に大鼓、小鼓、太鼓、笛といった大人数の編成が特徴です。義太夫は人形浄瑠璃を歌舞伎化した作品の伴奏で使われ、人物のセリフや心情を情感たっぷりに熱く語るのが特色。義太夫をもう少しメロディアスにしたものが常磐津で、スケールの大きいドラマ性のある舞踊劇を得意とし、立役が舞踊に進出した時期に常磐津伴奏の舞踊劇が流行しました。伴奏音楽の中で一番新しいのが清元です。震えるような高音の節回しが特徴で、哀切感や色気を醸し出します。それぞれの音楽は単独で演奏されることがほとんどですが、曲によっては、掛合といって2、3種類の音楽を一緒に演奏する形式もあります。例えば「身替座禪」は長唄と常磐津の掛合、「紅葉狩」は長唄、義太夫、清元の三方掛合です。歌舞伎公演の演目紹介には、「格調高い長唄舞踊」「清元の所作事」という風に出てきますので、伴奏音楽から作品の雰囲気想像してみてくださいね。

歌舞伎舞踊の種類

文中紹介している作品は、名場面など一部の動画をインターネットで見つけることもできるので、ぜひチェックしてみてください。 ※()内は通称。

女方の舞踊

歌舞伎舞踊は、もともと女方が恋の思いを表現するために生み出したもの。中でも、1753年に初代中村富十郎によって踊られた『京鹿子娘道成寺(娘道成寺)』は、道成寺物の集大成と言われ、1時間近くを1人の女方が踊り抜く女方舞踊の大曲。その他、藤の枝を掲げた艶やかな娘が踊る『藤娘』も人気曲です。



『藤娘(ふじむすめ)』



『三社祭(さんじゃまつり)』

立役の舞踊

江戸時代後期の変化舞踊の流行とともに急速に増えたのが、立役の舞踊。主に市井の風俗を取り入れたものが多く、様々な身分や職業の男性が描かれます。清元の伴奏で軽妙に漁師が踊る『三社祭』や半裸の願人坊主が愉快に踊り続ける『浮かれ坊主』など。



『連獅子(れんじし)』

その他の舞踊

獅子や鬼、怨霊など人間以外の役が主人公の舞踊。勇壮な架空の霊獣獅子に変わって親子獅子が舞う『連獅子』、鬼が美しい娘に化ける『紅葉狩』、不気味な土蜘蛛の精が主人公の『土蜘蛛』など。

男女の舞踊

『道行初音旅(吉野山)』などの道行物が多く、二人の死への旅の風景が描かれます。そのほか、弄ばれた女と捨てた男による怪奇惨劇を清元の名曲にのせて展開する『色彩間菟豆(かさね)』も一押し。



『吉野山(よしのやま)』

演技と演出の基礎用語

歌舞伎の解説にたびたび出てくる独特の用語。ここでは舞踊に関する用語をいくつかピックアップ！

人形振り(にんぎょうぶり)

義太夫狂言に用いられる演出法で、人形遣い(黒子)があたかも人形を操っているかのように、踊り手が手や首を動かす技巧的な型のこと。多くは娘役の激情を表す情景に用います。

所作ダテ(しょさだて)

人間が争う場面を表現する「タテ」と呼ばれる立回りを舞踊化し、華やかな音楽にのせて踊るように見せること。大勢の演者が主人公に簡単に投げ飛ばされたり、宙返りしたりして、主役を引き立たせます。

髪洗い

獅子物で長い毛を前に垂らして勇壮に振ってみせること。中国の険しい谷間を流れる清流で、霊獣の獅子が身を清める様を表現した振りです。首を回すのではなく、腰を回すのがコツと言われます。

【参考文献】 ○藤部幸雄、富田鉄之助、廣末保 編『新版 歌舞伎事典』(平凡社、2011) ○藤田洋『日本舞踊ハンドブック』(三省堂、2001) ○藤田洋『歌舞伎の事典—演目ガイド181選』(新星出版社、2008) ○辻和子『歌舞伎の解剖図鑑』(エクスナレッジ、2017) ○文化デジタルライブラリー <http://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/>



Japan Culture Tour

和文文化巡り

第1回 | キモノハナ パセオ店

札幌市教育文化会館では、伝統芸能とともに日本の文化の魅力を気軽に体感してもらう「和文化プロジェクト」をスタート。連載第1回目は、カジュアル着物を扱うキモノハナ パセオ店をご紹介します。



写真提供:キモノハナ パセオ店



キモノハナ パセオ店

札幌市中央区北6条西2丁目パセオセンター B1F
tel.011-213-5087
営業時間 / 10:00~21:00
<https://www.hana-wakou.co.jp/>

心浮き立つ着物を纏って 特別な観劇

「タートルネックやブラウスの上に着物を羽織れば、3分で着付け完了!」「DJイベントに着物で参戦!」こんな感じで着物を日常着として楽しむ動画を配信し、ファンを増やしているのがキモノハナ札幌パセオ店店長の林奈々さん。店頭には自宅で洗える着物や浴衣、初めてでも結びやすい半幅帯がズラリ。値段も着物単品で1万円台、2万円台からとリーズナブル。「初めてでも、インターネットで着付け動画を見ながら着てみたという方も多いです。気軽に着物を楽しんでもらうために、洋装とミックスしたコーデイネット提案にも力を入れています」と林さん。伝統を尊重しつつも、現代の解釈で入口はあくまでカジュアルに、そこから奥深い魅力を知ってもらえれば。そんな彼女のスタイルは、教文が伝統芸能の公演や和文文化プロジェクトに込めた思いと通じるものが。着物で出かけるとコミュニケーションが生まれるので、思い思いの着物スタイルで教文に集合できたら素敵」と語ります。姉妹店には反物も扱う「キモノハナおあつらえ」もあり。自分に合った一着を見つけて、ぜひ着物デビューしてくださいね。

2019年度 教文 伝統芸能シリーズ



札幌市教育文化会館では能舞台や歌舞伎の花道などを活かし、次世代へ向けて伝統芸能を継承するプログラムに精力的に取り組んでいます。2019年度も様々な伝統芸能公演を予定しております。是非、足をお運びください。

はじめての歌舞伎舞踊



解説や実演を交えながら歌舞伎舞踊をわかりやすくご紹介します。はじめて伝統芸能を観劇される方にもおすすめの公演です。

[日時] 5月16日(木) プレ講座 15:00開始(14:30開場)
本公演 18:30開演(18:00開場)

[会場] 小ホール
[出演] さつき緑万寿、小桜佳之輔ほか
[演目] 「伊達娘恋緋鹿子(だてむすめこのひがのこ)」
火の見櫓の段(本公演)

[料金] プレ講座 全席自由 1,000円(本公演所持者は500円)
本公演 全席指定 3,000円(教文ホールメイト会員2,500円)
U-25席 1,500円(25歳以下限定、教文PGのみ取扱い)

松竹大歌舞伎



松本幸四郎改め 二代目松本白 鸚
市川染五郎改め 十代目松本幸四郎
襲名披露

裃姿の俳優が舞台に並び、襲名披露のご挨拶を申し上げる「口上」をはじめとした全3演目。

[日時] 7月6日(土) 昼の部 13:00開演(12:15開場)
夜の部 17:30開演(16:45開場)

[会場] 大ホール
[出演] 松本幸四郎改め松本白鸚、市川染五郎改め松本幸四郎 ほか
[演目] 「口上」、「双蝶々曲輪日記 引窓」、「色彩間苺豆 かさね」

札幌能楽会創立60周年記念能



観世・宝生・喜多 三流競演

日頃指導を頂くシテ方3流の・囃子方各流の能楽師を招聘し、能2番、狂言1番、仕舞4番を公演します。

[日時] 7月21日(日) 13:30開演(13:00開場)
[会場] 大ホール
[出演] 塩津哲生(能・喜多流)、野村萬斎(狂言)、観世善正(能・観世流)
[演目] 能「隅田川」喜多流、狂言「蚊相撲」和泉流、
仕舞 宝生流、能「船辨慶」観世流(小書)重キ前後之替

能楽なう



能は、舞踊と音楽、演劇が一体となった総合芸術です。今年は金剛流、金春流の能楽師を招き、上演を行います。二流派の能をご堪能ください。

[日時] 9月4日(水) [会場] 大ホール
[出演] 宇高竜成、中村昌弘 [演目] 未定

人形浄瑠璃文楽



写真:青木信二

喜怒哀楽すべての要素が楽しめる「生写朝顔話」、勇ましい掛け声と三味線、豪快な人形の動きが印象的な「ひらかな盛衰記」ほか、文楽を堪能できる演目揃いです。

[日時] 10月10日(木) 昼の部 13:30開演(13:00開場)
夜の部 18:30開演(18:00開場)

[会場] 大ホール
[出演] 竹本 津駒太夫、竹澤 團七、桐生 勘十郎 ほか
[演目] 昼の部「生写朝顔話」、夜の部「ひらかな盛衰記」、「日高川入相花王」

小佐部明広さん(クラック芸術堂)から指名

[プロフィール]

井上 悠介

Yusuke Inoue

1995年札幌生まれ。北海道教育大学在学中(「演劇集団空の魚」)の2016年に、久保章太、山科連太郎、リンノスケとともに演劇ユニット「きつとろんどん」を旗揚げ。17年度TGRアカデミー奨学生。2018年には、演劇専用小劇場BLOCHが若手劇作家の作品をプロデュースする企画「BLOCH PRESENTS 2018 TDP」の作・演出に抜擢された。



演劇

さっぽろ

のわ

きつとろんどん
井上 悠介

バッドエンドの方が、
いろいろ考えることができ好きなんです。

[次回公演情報]

BLOCHプロデュースTDP

×きつとろんどん

『コントラスト』

日程：2019年9月19日(木)～23日(月祝)

場所：演劇専用小劇場BLOCH

※東京公演

日程：2019年10月25日(金)～27日(日) 場所：シアター711

今最も勢いを感じさせると話題の若手演劇ユニット「きつとろんどん」。共同主宰の井上悠介さんは全公演の作・演出を手がけ、外部からの依頼も多い注目株。急成長中の彼が目指すものとは？

井上さんは脚本を書きたくて演劇を始めたそうなんです。高校まで陸上部だったのですが、本や漫画、映画が好きで何か書きたいとは思っていて大学では違うことをしようと演劇サークルを見に行っ、ここで書く練習をしてみようと思っ始めたのがきっかけです。演出も面白いんですけど、脚本ができた時が一番嬉しいですね。台詞を書くことが好きで、人の「色」が出た台詞や、何か引っかかってくる台詞を書いてみたい。今興味があるのはどんなことですか？

時系列を変える構成って映画ではよくある手法ですが、それを演劇でうまくできたら面白いのではと、ここ一年くらい挑戦しています。映画に限らず他ジャンルでウケていることを、いかに演劇に持ち込むかに興味があります。題材や展開の仕方など、札幌の演劇でまだあまりやられていないことは結構あるんじゃないかと思っています。

他劇団で既存脚本の演出も手がけています。完成された脚本がすでにあるので演出をつけることに集中でき、演出面での成長につ

ながっている気がします。自分の脚本だと役者さんに合わせて書き換えることも多いので、他人の脚本でそれができない状況で演出することは勉強になります。

「発光体」の脚本を拝見しましたが、笑いもありつつ、ハッとさせる台詞や安易に一つの正しさに収束しない展開が印象的でした。

「敵には敵の事情がある」とか、勝って終わるよりは負けて終わるとか、いわゆるバッドエンドの方が、自分の場合見ながらいろいろ考えられることもあって好きなんです。お笑い好きだからコメディティストにはなるけれど、話自体はちょっと暗いものが好きですね。将来的には、登場人物全員が愚か者ではなくて間違いをしないように見えるのには、バッドエンドになる話を書いてみたいです。

他に今後やってみたいことはありますか？

漫画が原作の舞台を手掛けてみたいですね。映画化はよくありますが、原作の面白い部分が伝わらないと思うことが多いので、全て映像で描かなければいけない分、特に邦画だとあまり成功しているようには思えないですね。その点、舞台の方が抽象的に表現できる幅を大きく持たせられるので、映像化より原作の面白みを伝えやすいのではないかと、少しずつできることを増やして、いつか挑戦できたらと思っています。

教文演劇フェスティバル | 2019 |

教文短編演劇祭

2019.8.31[土]

テーマ「ショウ」

今年も短編演劇祭が開催!! 昨年度は震災によって惜しくも中止となってしまう短編演劇祭が遂に開催されます。12年目の短編演劇祭のテーマは「ショウ」。テーマを活かした作品を公募し、台本審査によって選出された道内外の劇団が来たる8月31日(土)にしごきを削ります。今年の目玉は何と言っても教文が誇る1,100人収容可能な大ホールでの開催! 大ホールの広い舞台と機構を活かし、全国からどんな作品が上演されるのか期待です! 新たに加わる企画も計画されているとことで、益々目が離せません。教文が総力を上げて実施する短編演劇祭。演劇シーンの夏の陣... 割目せよ!!



星くずロンリネス/キンチョーム(作・演出:上田龍成)

今年の短編演劇祭は2018年チャンピオン「星くずロンリネス」+4団体による本選一発勝負! 「ショウ」をテーマに繰り広げられる短編演劇バトル。現・防衛王者に挑むのは誰だ?!



北海道を演劇のチカラで元気にしよう

Pray for Hokkaido プロジェクト

北海道胆振東部地震義援金支払いについて

2018年9月6日に発生した「平成30年北海道胆振東部地震」により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

地震の影響で教文演劇フェスティバルは一旦中止となりましたが、昨年11月30日に振替公演として開催致しました「GRAND CHAMPION STAGE 振替公演」では、少しでも復旧支援の一助となることを願い、チケット売上の一部を義援金として寄付させて頂く、Pray for Hokkaido プロジェクトを実施しておりました。

この度、右記のとおり寄付を行いましたことをご報告致します。

金額：75,826円(チケット売上10%相当額)
寄付先：日本赤十字社 北海道胆振東部地震災害義援金
寄付日：2019年2月28日(木)

この場をお借りして、皆様のご協力とご支援賜りましたことを心よりお礼申し上げます。今後とも「北海道を演劇のチカラで元気にしよう」を目標に据えながら、質の高いイベントづくりに邁進して参りますので、今後とも教文演劇フェスティバルを宜しくお願い申し上げます。

Koki Mitani × Keiko Toda

虹のかけら

~もうひとりのジュディ



撮影：神ノ川智早

構成・演出：三谷幸喜 出演：戸田恵子 音楽監督：荻野清子

映画「オズの魔法使い」で全世界でアイドルとなった天性のミュージカルスター、ジュディ・ガーランド。しかしこれは、彼女の物語ではありません。ジュディと同じ名を持ち彼女の付き人として、専属の代役として、長年に渡り影のように寄り添った一人の女性、ジュディ・シルバーマン。彼女の生涯を知る人はほとんどいません。ジュディを愛し続け、そして憎み続けたもう一人のジュディの物語。 記：三谷幸喜

2019.11.6[水] 開演 19:00

札幌市教育文化会館大ホール

お問い合わせ

舞台芸術共同企画 TEL.011-596-7511 (平日10:00~17:00)